



平成23年4月18日

各位

会社名 グランディハウス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 村田 弘行
 (コード番号: 8999 東証第二部)
 問合せ先 常務取締役 齋藤 淳夫
 (TEL. 028-650-7777)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成22年10月4日に公表した平成23年3月期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	27,300	1,200	1,410	750	7,818.69
今回修正予想(B)	27,235	1,504	1,509	798	8,319.09
増減額(B-A)	△65	304	99	48	—
増減率(%)	△0.2	25.3	7.0	6.4	—
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	22,108	883	853	469	4,891.31

2. 平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,000	570	780	500	5,212.46
今回修正予想(B)	14,303	771	889	523	5,452.23
増減額(B-A)	303	201	109	23	—
増減率(%)	2.2	35.3	14.0	4.6	—
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	11,630	100	221	97	1,011.44

3. 業績予想数値修正の理由

平成23年3月期の連結業績は、住宅市場の回復を背景に、売上高、利益とも前回公表(平成22年10月4日)の業績予想を上回るペースで推移していましたが、東日本大震災の影響で期末に予定していた住宅の引き渡しに一部遅れが生じたこと等から、当期の売上高は、概ね公表値どおり(微減)となる見込みとなりました。

営業利益及び経常利益は、滞留商品の一掃に取り組んだことで商品回転率が改善したこと及び経費削減等によって利益率が向上したことで、公表値を上回る見込みとなりました。また、当期純利益は、東日本大震災関連の特別損失(約1億円)を計上することになりましたが、公表値を上回る利益を確保する見通しとなりました。

単体業績についても、概ね連結業績と同様の理由で、売上高は概ね公表値どおり(微増)となりますが、利益は公表値を上回る見通しとなりました。

(注記事項)

上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上